

医学生らに設備PR

17県内初の合同説明会

長 崎

医学生や研修医、I・U 滝塾」(県医師臨床研修協
ターンを希望する医師を対 議会、河野茂会長)が主催
象にした「県17病院初期・ した。

後期合同説明会」が2日、 研修医を受け入れている
長崎市内で初めて開かれ 県内17病院がそれぞれブ
た。研修医の確保や医師の スを設置し、病院の概要や
キャリア形成を支援しよう 研修内容などを説明した。
と県などでつくる「新・鳴 長崎大学病院は全27診療科
が個別にブ
スを出した。

長崎大医学
部の学生ら約
140人が参
加。このうち
大村市出身で
宮崎大医学部
5年の今里浩
之さん(22)は
「長崎県内で
研修医になる
か分からない
が、地元の情

医学生らが病院の概要や研修内容などを聞いた「県17病院初期・後期合同説明会」
＝長崎市上町、NBC別館



報が欲しかった。一人前の
医師になるために多くの経
験ができる場所を探す」
と話した。

長崎大学病院医師育成キ
ャリア支援室の瀨田久之准
教授は「都会や有名病院を
希望する学生が多く、県内

では研修医が足りない病院
もある。長崎大の卒業生が
県内にとどまってくれれ
ば」と期待した。(永野孝)